

平成30年度

事業計画書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

平成 30 年度事業計画書

1. 30 年度事業の実施方針

今年、福井県で「福井しあわせ元気」国体が開催されます。全国から選手や観覧者、旅行者等 多くの方々が訪れると予想されます。何十年ぶりで開催される福井国体を、成功に終わらせることが出来る事を願っております。

この国体の開催にあたって、福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会実行委員会事務局が文化プログラム事業と題して、文化や芸術の面から福井県の魅力をPRするため、平成30年4月～12月の期間中、各施設の常設展や企画展などを県国体実行委員会のホームページに掲載されます。当館も県内外から来るお客様方に入館していただくよう該当する事業の宣伝を応募し、おおいにホームページを利用させていただきます。

さて、今期の事業は、特に勝山市と当館との連携事業である特別展覧会 重要文化財「木下家住宅改修記念展」と、博物館に据えられた左義長櫓の活用に力を入れてまいりたいと思います。

特別展覧会は、入館者に向けて開く最大のプレゼンテーション空間ですから、話題性や時代性に富んだ企画とアピール性の高いしつらいが必要と感じます。今回、長い時間をかけて改修された木下家の特別展覧会が当館で初めて公開されますこと、大変光栄のことと思います。また、特別展入館者のお声で一番の希望は、展覧の文字を大きくしてほしいということ、実物展示品が少ないとのご意見をいただきました。予算内でいかに展示の存在方法を考慮するか、その意義は大きいと思います。

念願の鬼祭、勝山左義長の櫓が昨年暮れも押し迫った12月初旬に、勝山城博物館内に設置されました。どのように櫓を利用し生かして行くかに力を入れてまいります。小笠原公入封以来300年以上の歴史を誇る2月の左義長祭りに使うこの櫓は、現在勝山市内に残っているものの中で一番古いと言われているもので、切妻造りの屋根を持つ2階舞台の櫓が見事に再建されました。この櫓は当館で通年展示されており、設置祝いのお披露目として、今期4月30日のゴールデンウィーク2日目に実施の、清明茶会で「2階舞台に点前座を設え」お茶を呈します。今ひとつは館に設置された櫓の記念のお披露目で、「左義長櫓のお目見えデー」と名を打ち、市民有志の方々や友の会員の方と一緒に、太鼓で浮き、お餅等を振る舞い、賑やかに盛り上げたいと思います。

勝山市と連携を結んだ事により、勝山城博物館に期待される役割は、これからますます大きくなっていくものと考えます。事業活動の充実を図ると共に、友の会の皆様はじめ地域の方々と交流をより密にし、博物館の存在を広く社会に認知し、関心をもっていただくよう、普及啓発に努めてまいります。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①クローバーグループ連携「俳句」ちやまを詠む

応募期間（春夏期） 平成30年3月1日（木）～8月31日（金）

（秋冬期） 平成30年9月1日（土）～平成31年2月28日（木）

入賞者発表（春夏期） 平成30年9月上旬

（秋冬期） 平成31年4月上旬

クローバーチケットで連携を結んでいる、ゆめお一れ勝山・越前大仏・平泉寺まほろば・勝山城博物館の4館に俳句の投句箱を設置します。古くから俳句が盛んであった勝山にふさわしいイベントとして、各施設の来館者に自由に俳句を詠んでいただき、勝山の文物や自然をより楽しんでいただけるよう企画しています。

②平成お天守塾 第12回「勝山城清明茶会」

日程 平成30年4月30日（月・振休）

毎年好評を得ている「清明茶会」も12回目になります。今年は濃茶・薄茶・野点・点心の4席を設けます。今では北陸最大級のお茶会として県内では確実に浸透し、マスコミ各社の取材も毎年見込むことが出来ます。展覧会に必ず来られる方々とは違う層へ、定期的に当館をアピールできる最上の機会として位置付けています。

③勝山市・勝山城博物館連携第5回共催展

「重要文化財木下家住宅大解剖」

日程 平成30年7月21日（土）～9月30日（日） 72日間（会期中無休）

永平寺大工が手掛け、越前の江戸時代の間取りを残す貴重さから、国の重要文化財に指定されている勝山市北郷町の木下家住宅。平成27年度から行われてきた本格修繕が今年とうとう完成します。国の重文民家として県内では約40年ぶりとなる修繕作業の中で判明した事実を紹介すると共に、庄屋の家に残されてきた様々な文物を紹介します。

④平成お天守塾 「勝山城のおたんじょうび」

日程 平成30年7月中旬の日曜日

平成4年7月19日に勝山城博物館は開館しました。26歳となる7月19日前後にそのお誕生日祝いのイベントを行います。

⑤納涼花火大会見物&ナイトミュージアム

日程 平成30年8月14日（火）午後7時から9時30分まで

当館展望台からの花火見物を行います。同時にナイトミュージアムとして展示室も観覧可能とし、通常見ることのない夜の博物館も楽しめる企画です。

⑥福井大学純邦楽のしらべ5

日程 平成30年9月の土曜日又は日曜日の午後

特別展覧会に付随したイベントとして、今回5回目となる福井大学邦楽部のみなさんによる純邦楽コンサートを開催します。特に人口減少が懸念される福井県で、勝山市は特に高齢化も進んでいます。大学生に当館へ来てもらえる機会を提供することで、将来的な来館者の獲得も目指します。

⑦平成お天守塾 「お城でゴスペルⅥ」

日程 平成30年10月上旬の土曜日又は日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、6回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループを中心とした音楽イベントを行うことで、音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知いただける機会となっております。

⑧平成お天守塾 「お城でタップⅡ」

日程 平成30年10月中旬の土曜日又は日曜日

昨年度に当館で地元初ライブを開催して大好評を博した浦上雄次氏。東京を拠点に長く活動し、平成27年から勝山にその拠点を移しておられます。浦上氏は勝山市の新体育館ジオアリーナでも定期的な教室を開催されており、地域に根差した活動が期待されるアーティストです。

⑨勝山市・勝山城博物館連携 第13回絵画作品展「お城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 平成30年7月7日(土)～10月8日(月)

表彰式 平成30年11月4日(日) 2階障壁画ホール

展示会 平成30年11月4日(日)～11月25日(日)

第12回から勝山市の観光政策課と連携しての開催となりました。前回は過去最高の応募数となり、福井県内に止まらない人気企画となっております。子供から大人まで気軽にご応募でき、博物館に足を運んでいただけるような新たな企画も織り込めるよう検討して参ります。

⑩新春特別陳列・新収品展

日程 平成31年1月1日(火)～1月31日(木) (水曜通常休館)

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間しか陳列することができません。カビや虫の不安も少なく、客足が落

ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の特別陳列を行います。同時に、新たに当館の収蔵品に加えられた貴重な品々も同時に公開いたします。

(2) 主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日（計4回）

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします（要別料金）。茶道に親しみ博物館への理解を深めていただける機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化事業として相応しいイベントについて利用の働きかけを行うとともに、貸館の申し込みを受け付けます。今年度もピアノ教室の発表会などでの利用が見込まれます。

(3) 学芸活動

①燻蒸作業は、特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います（費用は館から立て替え、後に市から利用料を上乗せの上、全額振り込まれます）。館蔵品につきましても、特別展展示作品と同時期に燻蒸庫を利用して燻蒸を行うほか、専用の防虫剤・調湿財の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

当館の知名度向上に伴い作品寄贈や寄託も増えた一方、収蔵庫や展示室の大規模燻蒸は近年行われていないため、開館30周年を目処に一度燻蒸計画を立てる必要があると考えております。

②調査研究活動では、引き続き局所的な研究会等で福井県各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、日本博物館協会の全国大会にも参加することで、県内外の研究機関ネットワークに当館も確実に認知されるよう専念しております。このことが当館の作品貸し出しやそれに伴う使用料収益にもつながりました。

③平常展示では、3階平常展示の定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのままに、装束と刀剣の入替えをメインといたします。銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍の入替えについても、できるだけ行ってまいります。また、平成31年度に開催予定の西脇呉石に関する特別展覧会の終了後、4階刺繍展示室の一部を使って西脇呉石コーナーを設けることが出来るよう検討してまいります。

- ④特別展では、主に勝山市教育委員会史跡整備課の職員と連携し、公益財団であるからこそできる展覧会を企画・展開してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月(日時・講師未定)
- ② 館外研修旅行 5月30日(奈良県奈良市方面)
- ③ 館外研修写真アルバムの編集・発行
- ④ 友の会だより第25号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。また、当館ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では広報かつやまへの掲載や新聞折り込みなども行います。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例理事会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)